



会長	紺野 広	青少年奉仕	夏川戸 齊
副会長	橋本 昭一	幹事	松本 剛典
クラブ奉仕		会計	妻神 和憲
会長エレクト	橋本八右衛門	会場監督	佐々木泰宏
職業奉仕	道尻 誠助	直前会長	小林 幹夫
社会奉仕	岡崎 孝文	副幹事	小田山紀暢
国際奉仕	鶴飼 寿栄	会計補佐	小井田和哉

例会日	毎週水曜日 12:30	例会場	八戸グランドホテル
事務所	八戸市番町14		八戸グランドホテル内
	電話 (43) 0608	FAX	(43) 0661
	e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp		
	http://hachinohe-rotary.org/		
会報・広報委員長	峯 正一	同副委員長	上村 奉樹
同委員	妻神 和憲	同委員	野村 一雄

国際ロータリーのテーマ — 2023~24 — 八戸ロータリークラブのテーマ

世界に希望を生み出そう

和而不同 (わじふどう)

国際ロータリー会長 ゴードン R.マッキナリー

八戸ロータリークラブ会長 紺野 広

6月 は ロータリー 親睦活動月間です

第3316回例会 2024.6.12

会長要件 紺野 広 会長



我が八戸ロータリークラブの姉妹クラブで有る基隆ロータリークラブが、3年ほど前から、グローバル補助金の申請を、同じ内容で繰り返し国際ロータリー財団に上げ続けて居ります。台湾では、domestic violence (DV) が有った家庭においては、母親にも責任が有ると考えられて居るのか、子供達は両親と離されて施設に入所致します。日本では、母子が共に被害を受けるケースも多く、母親も被害者と見做される場合には、一時避難場所としてのシェルターや、其の後に入所する母子生活支援施設で生活しながら、生計の目処を立てて参ります。当クラブが支援している母子生活支援施設小菊荘は、そう言う施設の一つです。基隆ロータリークラブでは、両親と離れて暮らす子供達への支援として、学習教材の供与や、生活の面でのサポートを人的な支援も含め行って居ります。グローバル補助金の申請ですので、海外のパートナークラブとの共同申請が必要で、我々に都度、協力の依頼が基

隆ロータリークラブから参ります。当クラブの村井達バスターから、以前、識字率向上のプログラムは、其の自国の言語すら学び得ない、其れ位貧困等が酷い、社会基盤整備の出来て居ない地域への計画で無ければ通ら無い。台湾の、自国語を問題無く使い熟す地域の子供達への、英語教材を配布しての事業には、グローバル補助金は支出される事は無い、と御聞き致しました。実際、村井バスターの仰有る通り、基隆ロータリークラブの申請案件は、国際ロータリー財団から、何度も却下されて居ります。でも基隆ロータリークラブの面々は諦めず、何度もトライして居ます。此の度、2830地区の佐藤健一ロータリー財団委員会委員長は、築館智大バスターからの働きかけも有ったのではないかと推測して居りますが、第2830地区として御承認下さいました。でも、最終的には村井バスターのおっしゃる通り、国際ロータリー財団の方で、採択され無いと私も思って居ります。しかし、実際に有意義な活動を既に行っている彼らの、挫けずに申請を繰り返す熱意は、此れからも継続して此の活動を行うのだと云う断固たる決意に因るもので有

と感じます。良いと思った奉仕を大切に続けて行く事は、非常に高邁で、敬服に値する事と思って居ます。一方、翻って我々はどうかと言う事は、少し考えて行かなければいけないと思って居ます。単年度単年度の、毎年違う事業を行う事が、当クラブの今迄の年度事業選択の流れでしたが、有意義な活動を見つけたならば、基隆ロータリークラブの様に、其れを皆で一緒に頑張っていければ良いと私は考えて居ます。具体的には、道尻年度に着手し、今年度も携わった、母子生活支援施設小菊荘への支援活動の、花壇整備や夏祭りは、岡崎孝文社会奉仕委員長、社会福祉法人ユートピアの会理事長である鶴飼寿栄会員、松本剛典幹事らの企画、運営により、参加者のみならず、主催して居る我々も楽しい、誇れるイベントに進化して居り、非支援者からの継続の希望も高い活動で有ります。次年度、次々年度も、子供達の笑顔を見たいものです。此れは、私の願いに近い、事業継続の希望で有ります。

入会式：(株)日建工業 ^{たもりたくみ} 田守拓己さん

・推薦者からの紹介：道尻誠助会員

6月晴れの夏のような佳き日に八戸ロータリークラブに入会くださいます田守拓己さんをご紹介します。

田守さんは株式会社日建工業代表取締役で、建築塗装業を営んでおられます。八戸市生まれの41才です。最初お会いしたとき、立派なひげを観て年上の方と間違いましたが、私より年下です。モロッコではひげをはやす人には悪い人はいないということです。

39才で会社を興され、明日はヒノキになると切磋琢磨されています。向上心が強く、素直で前向きで、仕事においては信頼の貯蓄に心がけておられます。皆さんに八戸ロータリークラブの新しい仲間として温かく迎え入れられ、ロータリアンとして育てていただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

・バッチ伝達

・新会員挨拶

田守拓己さん



弊社はまだ設立してまだ4年程度の小さな会社です。塗装工事をメインに建設工事を営んでおります。本日、歴史と伝統、格式のある八戸ロータリークラブに入会させていただき、たいへん光栄と感じると共に、身の引き締まる思いです。わたし自身、まだまだ未熟者で微力ではございますが、会の発展のため精進させていただきたいと思っておりますので、皆様の温かいご指導のほどよろしく申し上げます。

幹事報告 松本 剛典 幹事



○第59回バックス奨学基金カンパゴルフ大会のご案内
締切は6月25日です。ゴルフをされない方も懇親会のみでも参加OKですので、多数

のご参加をお願いします。

○最終例会のご案内

出欠締切は6月17日、事務局までお願いします。

委員会報告

親睦・会場委員会

佐藤恒寛委員



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝

田村礼吉・岡崎孝文

佐藤恒寛・渡辺 孝さん

田守拓己さん

本日より入会させて頂き
ます。宜しく願い致します。

道尻誠助さん 新会員田守拓己さんをよろしく
お願いいたします。

夏川戸 齊さん 佐藤さん卓話楽しみです。

橋本八右衛門さん 暑い季節が直近です。水分
たくさんとってがんばり
ましょう！

石橋信雄さん ヤサカ創立55周年記念コンペ、
祝賀会に出席させて頂きまし

た。運が良すぎて準優勝頂きました。松本幹事おめでとうございます!!

山村和芳さん ニコニコデー

副幹事：橋本八右衛門会長エレクトよりもご案内がありました。次年度委員長の皆様、7月3日にガバナー公式訪問があります。その中で委員長の方々にご出席いただきますが、7月3日のガバナー公式訪問の流れなどの打ち合わせを、来週例会後に、例会場で15分程度打ち合わせを行いますので、ぜひご参加お願いします。もし次年度委員長がご出席できないときはどなたか委員の方にご出席いただければと思います。

国際大会報告 夏堀礼二国際奉仕委員長



5月25日～29日までロータリー国際大会シンガポール大会が行われました。われわれ八戸ロータリークラブのメンバーと五所川原RCの成田さんと柴田さんとで24日の夜に出発してシンガポールに行ってきました。

初日はホテルにチェックインできないということで、早朝6時半くらい空港に着いてみんなで入国審査、荷物を受け取ったりして、午後3時まで市内観光をしました。コンサートホール、中心地などをガイドさんに引っ張られて回りました。最初は小さいマーライオン、築館さんも石橋さんもお決まりのポーズをとりながら和気藹々と、ロータリアンらしく粛々とさまざまな観光をしました。ベイエリアの反対側の船のモチーフをしたベイサイドホテルの向かいのコンベンションセンターで大会が行われるということで、大会会場の下見をしました。シンガポールは多民族文化でいろんな宗教を含め、かなりいろいろな人たちが生活をしている。

基本的にはイギリスの植民地だった関係もあって英語が公用語になっていますが、中国系の方が一番多く占めていて、中国語も会話されている状況の中に、日系人エリアで

佐々木さんの関連のペンキ屋さんがあったので、そこで写真を撮りました。女性の服に興味津々で築館ガバナーはお土産を買っていいのかな。イスラム文化のエリアも散策しました。ペルシャ絨毯があったり、陶器、ガラスがあったり、モスク、礼拝堂もありました。佐々木さんと築館さんは靴を脱いで礼拝堂でアラの神にお祈りをしておられたようです。その後、ようやく飲茶で昼食。細長い急須でこぼさないようにお湯を注ぎ足していました。

翌日は本大会に参加しました。スコットランド出身のゴードン・マッキナリさんがスコットランドの衣装を着て登壇されました。獅子舞などもありました。世界各国の中でロシアの方々、ウクライナの方々が戦争中にも関わらず、ロータリーというところで参加されたのはひじょうに興味深いシーンでした。参加者数は12,000人で、日本からも2,300人、2830地区からは30人が参加しました。参加人数が多いため、午前中の一部と二部に分けて開催されました。

その日の夜は郊外のシーフードレストランに行き、築館さんが招聘して2830地区の方々や外部の方も含め皆さん集まって食事しました。けっこう高級店だったので、おいしい食事をいただきながら、本場のチリクラブを食べたわけです。カニというと皆さん黙々と殻をむきながら食べます。道尻さんは食べ物にこだわりのある方ですので、カニを食べられなかったらどうしようと思いましたが、何とか食べてくださってありがとうございました。

翌日は隣国のマレーシアを観光しようということで、国境を越えジョホールバル州という、マレーシアの中ではクアラルンプールと違って田舎なのでしょうが、本当にシンガポールとの貧富の差、発展の差をまざまざと見たような感じでした。民族の踊り、絵をお土産にしたりして戻ってきました。その後、わたしたち夫婦は仕事の関係で先に帰国しましたが、皆さん方はセントーサ島というレジャーアイランドで博物館、水族館、ショッピングセンターを1日観光して、夜にはマリー

ナベイズが経営している大きな植物園を観光して楽しまれたようです。最後は佐々木さんがUFOに飲み込まれるのではないかとというようなシーンもあり、シンガポール国際大会に無事に参加してきました。

委員会活動報告Ⅱ

親睦会場委員会

岡崎孝文委員長



委員長 増田 敏さん、副委員長 岡崎孝文さん、委員は山本 仁さん、石橋信雄さん、深澤 隆さん、山村和芳さん、夏川戸 齊さん、正部家 淳さん、渡部 充さん、宮下 悟さん、加藤範尚さん、栗谷川敏彦さんです。

委員会の活動は親睦会場委員の協力のもと、通常例会ならびに特別例会は会員の皆様が例会に参加することが楽しいと感じられるように企画運営に努めました。①通常例会はコロナ感染症の動向を注視しながら適切な対応に努めました。②特別例会、会員向けのトリニティボイスの演奏、またカラオケを企画しました。③会員のオンライン出席はありませんでした。④会員の皆様のご理解によりニコニコボックスにご協力をいただきました。

会報・広報委員会

峯 正一委員長

会報は例会分を発行できました。写真に関しては従来通りの取り組みを経済、財団、例会内容は記録のためにもできる限り掲載するようにしました。

委員会活動ではありませんが、広報については八戸市との災害協定の調印式が新聞ならびにテレビに大きく取り上げていただきました。

ロータリーの友委員会

松林拓司委員長



前任の荒谷達也さんの後任で、11月から着任しましたので、最初は勝手が分からず小田山さんに3月まで内容の報告等をお願いしました。あり

がとうございます。

自分になってからは5月号に当クラブの活動が紹介されたことが一番大きなニュースだったと思っています。青少年交換留学生としてポーランドに住んでいる右近彩葉さんとオンラインでつないで、ウクライナから避難してきた子どもたちを支援するボランティア活動、そして現地のように、留學生活のようすを卓話で紹介していただきました。その内容をデーリー東北の上村奉樹さんにまとめていただき、掲載されました。

もう一つは道尻誠助さんの川柳が4カ月連続で掲載されるという快挙がありました。12月号で天地人の“地”で2位、1月号で“人”で3位、2月号にも掲載され、3月号でとうとう“天”を獲得されました。「春風に競って芽吹く 母の庭」で“天”を獲得され、八戸に道尻ありということ全国に知らしめていただけたのかということで、記憶に残る出来事でした。

会員増強委員会

佐々木泰宏委員長



委員長は佐々木泰宏、委員は浜谷英幸さん、夏川戸 齊さん、築館智大さんの4人で活動を行いました。

今年度は新しく入会された比較的若い会員の方々のお仲間を勧誘することに重点を置いていましたが、実際に活動を始めたのは下期からでした。その中で会社まで伺ってもう一歩という方、現在もまだ進行形の方もいらっしゃいますが、残念ながら当委員会の実績にはまだつながっていません。そんな中、紺野会長以下、皆さんの積極的な勧誘活動に助けられ、結果、現在69名。純増9名につながっています。来月には70名に達する予定です。久しぶりの70人台ということで、委員会としてもホッとしているところで

す。その他の活動としては、9月と2月に新会員応援IDMを開催して、新会員の方々からロータリーに対する疑問点、あるいはご意見などを聞いたり、また諸先輩の方々のロータ

リーに対する思いなどを語っていただきました。そういったことにより、新会員の方々がロータリーに対する理解と親しみを増す一助になったのではないかと考えています。

姉妹友好クラブ委員会 高谷勝義委員長



委員長は高谷、委員は地代所久恭さん、高田文昭さんです。

昨年10月20日～2泊3日の行程で基隆ロータリークラブから会長以下17名をお迎えして、八戸ロータリークラブ歓迎夕食会、市内観光、地区大会での大懇親会にて交流を深めました。昨年11月15日～4泊5日の旅程で八戸ロータリークラブから10人で基隆ロータリークラブを訪問し、熱烈歓迎を受けました。その際に姉妹クラブ協定を更新し、基隆ロータリークラブ創立70周年記念式典に参加し、懇親ゴルフ、市内観光などを通し、大いに交流を深めてきました。

今年になり6月1日～2日の両日、八戸ロータリークラブから8人が大館市を訪問し、能代ロータリークラブと懇親会ならびに懇親ゴルフを介し交流を深めてきました。6月4日に台湾東部地震への支援金50万円を基隆ロータリークラブを経由して花蓮ロータリークラブに贈呈したことに伴い、支援金贈呈式典が現地の国立東華大学で挙行されました。

○ロータリー財団委員会 中村稔彦委員長 (小田山紀暢副幹事代読)

ロータリークラブは人々の健康状態の改善、教育へ支援、貧困の救済などのさまざまな活動をしています。このような活動を支えているのが皆さまから寄付をいただいている年次基金やポリオに対しての寄付金です。今年度も皆様からご寄付を頂戴しました。ありがとうございます。また11月には新入会員も多く入っていただいていることも考慮し、村井達パストガバナーにロータリー財団の基本についてお話をいただき、理解を深めることができました。

実際のところ本年度も皆様からご寄付をいただきましたが、為替の影響もあり例年に比べ寄付額が少ない状況です。わずか60セントで一人の子どもをポリオから守ることができると言われている通り、目標額に届かなくても少額でも結構です。もう少し時間がありますので、ぜひとも年次基金、ポリオプラスへのご協力をお願いいたします。以上1年間たいへんありがとうございました。

米山委員会 山村和芳委員長



卓話で米山奨学会の概要を説明し、皆さんにご理解を深めることができたと思っています。また改めて寄付金の趣旨を説明し、寄付のお願いをさせていただきました。今年度もご寄付いただいた方々、本当にありがとうございました。

また地区委員も務め、たくさんの方と出会い、勉学や研究に励んでいる姿や文化の違いについて、卓話を通じて知ることが出来ました。これからも日本と母国の架け橋として一生懸命頑張っている彼らにぜひとも心温まるご支援をしていただきたいと思います。1年間ありがとうございました。

青少年奉仕委員会 正部家光彦委員長



ご承知の通り、青少年奉仕委員会ではローターアクト委員会とインターアクト委員会で構成されています。後に各委員長からご報告があると思いますが、簡単に説明させていただきます。

今年度はローターアクト会員増強という目標を掲げましたが、残念ながらそれを達成することはできませんでした。またインターアクトクラブについては例年通り、工業大学第二高等学校に協力しながら行事を進めて参りました。わたしの方としては先週の土日に行われましたRYLAに参加させていただきました。詳細はローターアクト、インターアクト各委員長から報告させていただきます。

ローターアクト委員会 正部家光彦委員長



委員長は正部家光彦、副委員長は鴨澤 諭さん、委員は於本 正さんです。

今年度行ったことは青森大学にローターアクトクラブがあることを聞いていましたので、募集対象を大学生にしようということで八戸工業大学学長にお話をしたところ、ひじょうに賛同いただきました。それで学部長会議でのPR、担当教授を選定、構内へのポスター掲示、大学生へのビラ配りを実施しました。

反省点として、これだけやったのだから大学生からの連絡があるだろうという待ちの姿勢で、ポスターとビラ配りだけでそれ以上の積極的な働きかけを行いませんでした。大学生にとって魅力ある、具体的なボランティア活動の場、イベントを企画して実際に来てもらうということが必要だったというのが反省です。

今後に向けては、青少年や若い世代に対して生涯にわたる奉仕の精神の種を蒔くということはロータリアンが次世代の若者に伝えることとしてとても大切なことであると考えています。それは同時にわたしたち会員がそういう新しい視点や感性を持っている若者たちから多くのことを学ぶ機会であると考えます。来年度もわたしは青少年奉仕委員会を担当しまして、来年度もローターアクト委員会は委員会としてはありますので、委員長と相談をしながら再開を目指してがんばりたいと思っています。

インターアクト委員会 正部家淳司委員長



今年度委員長は正部家淳司、副委員長は夏堀礼二さん、委員は山本 仁さん、久保浩視さんの4人で活動しました。

主な活動は八戸工業大学第二高校インターアクトクラブのサポートということで、1年間進んできましたが、顧問の

先生とうまく連絡、提携が取れなかったり、学校行事と重なったりして、地区の行事や地域の奉仕活動などにはあまり参加してもらえなかったと思います。次年度もインターアクト委員会を担当しますので、他クラブのインターアクト委員会の方とも情報交換をしながら、積極的に参加してもらえるように働きかけていきたいと思っています。

ロータリーの友委員会 松林拓司委員長



6月号のご紹介。特集は「広げよう！ロータリー親睦活動の輪」ということで、親睦が原動力だと大きな字で書いています。1921年、ロータリーの創始者、ポール・ハリスは年次大会で

述べられています。それが今でも続いている。国際ロータリー公認の親睦活動は100以上あるそうです。その一覧が出ています。多種多様なものです。ビール・ワイン・ウイスキーはありますが、残念ながら日本酒はありません。あごひげと口ひげ、たくさんの親睦団体があることが紹介されています。

その一例で今回紹介されているのはヘビメタ愛好家。ヘビメタとは何ぞや、会長インタビュー、日本人会員の1号。2号の対談。ロータリーの会員が組んでいるヘビメタバンドがある。四つのテストが歌詞に入っているそうです。QRコードもついています。

先月号に続いてパキスタンのポリオ接種活動の紹介。冒頭で2001年に青森県の関場慶博パストガバナーの企画実施から始まったことが紹介。ポリオに関しては根絶が難しい、移動が激しいので難しいなどありますが、公共機関の駅などでの接種、水の浄化に尽力する。水の貴重さを伝える写真が載っています。

ポストコロナのメンタルリスト自殺予防。われわれにひじょうに身近ですので、災害級の感染症だった。専門家だけでなく周りにいるわれわれが何ができるかということが書かれています。



佐藤 恒寛 さん

明治安田生命の佐藤です。4月から夏川戸さんにご入会させていただき、2か月間たいへん勉強になる昼を過ごさせていただき、感謝申し上げる次第です。きょうは明治安田生命は何をやっているか、わたしの自己紹介を簡単にお話しします。

わたしは岩手県盛岡市の出身です。盛岡北高校、長崎経済大学を出て、明治安田生命に入社して群馬、山形、トヨタ自動車に出向。その後、営業企画部に戻り、大分で仕事をし、生命保険の商品を作る課長をやって、今、八戸支社です。

商品開発の課長をやっているときに、弟が2019年10月の人間ドックでは異常がなかったのですが、翌年の人間ドックで要検査、翌月残念ながらすい臓がんのステージ4で手術できないということになってしまいました。そこで商品課でどんなことを考えたかということをお話ししたいと思います。

ご承知の通りがんはどんどん増えています。もちろん高齢化もあります。当社でもがんに関する保険金は3%くらい出ています。ステージ4になると、残念ながら先生からは標準治療を取りあえずやってみますかと言われてますが、遺伝子パネルを受けながら、保険適応外の薬が合うか合わないかというところの選択を迫られます。残念ながらわたしの弟は、だいたい10~20%の割合ですが、外国で開発されて日本では承認されていない薬は合う薬がなく、亡くなってしまいました。そういった適応外薬、未承認薬はお金が数十万から数千万円くらいかかり、月単位で500万円以上の薬がかなりの割を占めます。そういったものが少しカバーできるがん保険が考えられたらと考えたところがあります。

ただし当然保険適応外でデータがないということで、日本臨床腫瘍学会の西田先生と一緒に協力しながら、全国のがんの先生のアンケートを取って、未承認薬での治療経験がありますか？ 約4割の先生が経験がある。自

己負担額が約1,000万を超えるケースもあった。それをサポートできる保険のニーズはありますか？ ある。例えば適用になるのは適用外薬、未承認薬というところがありますが、こういった薬を使うときでも経済的な心配することなく治療ができる。大きな病院であれば対応できるということです。

国立がんセンターの先生のお話を聞いて一番ショックだったのは小児がんです。大人と比べて当然発生する確率は少ないのですが、コマーシャルベースに乗らないので、小児がんの薬がなかなかないということでした。お子さんががんになった場合は保険適応外で対応する場合も多い。子どもにも付けられるようにしたらということも国立がんセンターからアドバイスをもらって、小児科でも適応できるような保険を作ったのは、わたしが商品開発で作ったことです。

次に八戸ではどんなことをやっているかをお話しします。明治安田生命はどんな会社なのか。140年前くらいに福沢諭吉先生の門下生だった阿部泰蔵が明治生命を創業して、安田善次郎さんが安田生命を創業した。2010年4月に合併して今の会社になっています。

いろんなプロジェクトを進めています。地元の元気を出していきたい。どうしても本社が東京にありますので、地元の方から保険をお預かりしても、なかなか地元の方にお返しができない。ということもありますので、少しお返しできるようにということで、八戸でいえば八戸市、三沢市、十和田市に加えて各市町村と包括連携協定を結びながら、募金の寄付をしたり、ボランティアをしたりというところでは。

市町村に加えて、2022年には日本赤十字とパートナーシップ協定を結び、献血にも取り組んでいます。昨年は紺野先生にもご協力いただきながらプライフーズスタジオで9月に献血を行っていて、今年も11月献血をする予定です。その他、三社大祭やえんぶりに助成

金を贈ったり、ヴァンラーレ八戸のホーム戦で義援金募金を行ったり、道の駅で募金を行ったり、Y Sアリーナで清掃活動を行ったり。健活プロジェクトということで、青森県はがんの死亡率が高いので、保険をお勧めする前にがん健診がありますよ。特に女性のがんは20代、30代の方が多いので、そういう特約を作りながら、先生に取材を受けたり、東京新聞の一面に当社の商品を載せたり、少しがんに入力しているのが今の当社の立ち位置です。

生命保険会社ですと、保険を勧められるのではないかなかなか怖がられるところもあります。商品を作っていて思いますのは、青森県の方はがんの罹患率が高いので、全国均一の保険料であるなら入っていて損はないかと思えます。見直しをいただくときには、当社に限らず、身近にいる皆さんの担当の方に声をかけていただいたらいいかなと思えます。

弟ががんで亡くなる時にはすごい献血で腹水が溜まって、輸血で元気になったということもありますので、町で献血車を見かけたらぜひ献血を。血は1か月か2か月くらいしかもたないと聞いていますので、献血もお願いできたらと思います。

会長講話：紺野 広会長

先週もそうでしたが、委員会報告を聞いて居りますと、八戸ロータリークラブの1年間の活動の記憶が蘇って参ります。普段は思ひ出さない事でも、此の時はこう云う事をしたとの御話し戴くと、其の時の楽しい、嬉しい感情迄も思い出されて参ります。皆様の多くの御活躍が有ったからこそ、充実した1年を送る事が出来ました。本当に支えられて来た、と云う気がして居ります。次週の、会長年度総括も、今日の例会と同じで、予定がタイトであり、余り時間が取れ無い為、短くして、と言われて居ります。ですので、皆様の委員会報告を以って、今年度の活動報告とさせて戴きます。会長年度総括は次年度の課題と捉えて居る事を、少しだけ御話しさせて戴こうと考えて居ります。

会報ですが、此処3か月位は、峯さんに御無理を云って、草稿を一旦私の方に御預け戴いて、会長要件等で話したものを、分かり易い内容のものにと、少し肉付けしたり削ったり、校正して居ります。私が皆様、仲間に対する仲間内の話し言葉、卓話、会長要件等は、互いが理解し合えるが故に、省略されて居る部分が多い事に、気付かされた為でもあります。ですので、私の考えが伝わり易いものにと、マイナーチェンジをさせて戴いて居ります。会長幹事年度総括の為の時間が短い事も有りますけれども、ここ3か月位は自分でちゃんと見て、内容を吟味して峯さんに御戻しして、そして皆さんの御手元に届けて戴いて居りますので、会長年度総括の代わりと思って御覧戴ければと思います。会報が半永久的にHP上に残ります。校正は、其の当クラブの会報を、他クラブの方々、一般の方々が見て居る事から、必要だと考えました。話した、話された事を忠実に、言葉通り再現するより、校正され、意の伝わり易い、しっかりした内容の会報を、残したいと云う気持ちが強く有ります。

話は変わりますが、過日、明治安田の佐藤恒寛さん、S M B C日興証券の渡部充さん、東京海上日動火災の永澤信さんの代理の方、の御3方に、八戸赤十字病院に来て戴いて生命保険、N I S A、災害時の保険等の御話しをして戴きました。当院の職員に対する福利厚生イベントに御協力戴いた訳ですが、さすがロータリアン、一流企業の方々と思わせる、素晴らしい御話しでした。しかし、院内の職員は新たな保険や財テクに対し臆病なのでしょうか、中々食いつく迄は行かない処が有りましたが、何度も足を運んで下されば、恐らく各々の財テクや、将来を考える為の情報提供ですので、考えも軟化して行くのではと思います。病院の福利厚生にロータリアンの仲間の協力を得たと言う話しですが、病院としても逆に皆様に対し出来る事を提供し、協力して参りたいなども考えて居ります。我々ロータリアン、出来る所は、互いに融通し合いながら、助け合って進んで行ければ良

いなと考えて居ります。

又、11月3日には、プライフーズスタジアムのヴァンラーレ八戸の試合に併せ、佐藤恒寛さんの明治安田に御協力戴いて、日本赤十字社の献血事業の促進の為のイベントをやらせて戴く事に成って居ります。スポーツは街に、地域に大きな活力を与えて呉れます。今年八戸赤十字病院もヴァンラーレ八戸を一生懸命応援して居ます。プライフーズスタジアムのLEDパネルに広告を出したりもしています。プライフーズスタジアムの年間のネーミングライツが400万円位と云う事で、院内の皆を焚きつけて、八戸赤十字病院スタジアムにしようという事を、半分冗談、半分

本気でヴァンラーレ八戸の細越会長、下平社長に話して居ます。何れ、スポーツ振興も街おこしの一貫として、皆様と考えて行きたいと思っ居ります。

皆様、色々な事で地域貢献をされて居りますが、今後、我々ロータリアンがコラボレーションする事に因り、活動の幅を広げて行けたら更に良いと思っ居ります。

点鐘：

副幹事：本日はこの後、第12回定例理事役員会をこちらの会場で行います。

出席報告						出席委員会											
第3316回例会（6月12日）				第3314回例会（5月22日）													
出席率		61.5%		出席率		60.9%		修正出席率	67.2%								
総会員数		67名		出席数	40名		総会員数		65名		メイクアップした人数	4名					
出席義務会員	65名		出席免除会員	2名		欠席数	25名		出席義務会員	64名		出席免除会員	1名		欠席数	21名	